

高津高校周辺の防災ホームページ

情報班：譽田 彩 金丸 恵恋

共同研究者：金岡 優那 坂部 友梨 康乗 弘雅

1. はじめに

LCIIのテーマである「都市と環境」について考えたとき、4年前に発生した東日本大震災が一番に思い浮かんだ。それによって人々の災害に対する意識は高まったと思われたが、アンケート調査の結果、生徒の意識は私たちの想定していたほど高くはなかった。それは災害発生後、数年経ったからだと思われる。そこで私たちは、この先起こりうる南海トラフ巨大地震、上町断層の活動による地震に備えて、生徒の意識と知識向上のために、ホームページを作成することにした。また、生徒に向けたホームページであるため、学校周辺の情報を中心に掲載していくことにした。

同時に、HTMLを使用したホームページ作成や Excel、ペイントなどに関する基本的な知識を身につけ、運用技術の向上も図った。

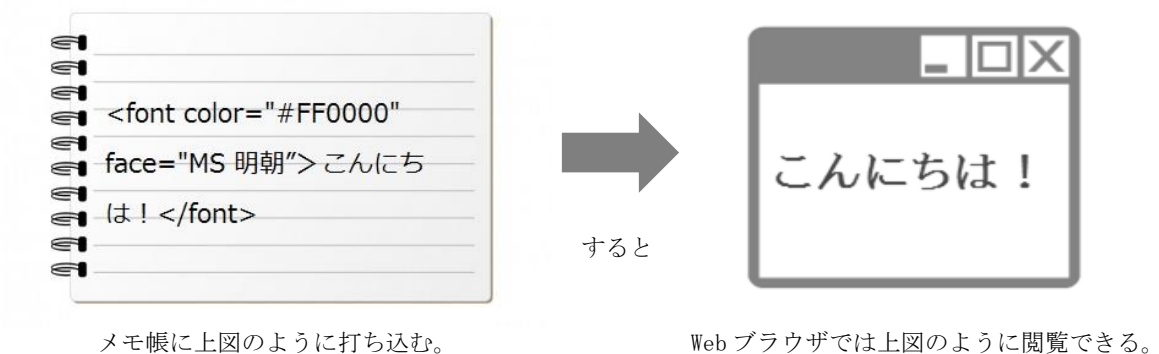
2. 研究過程

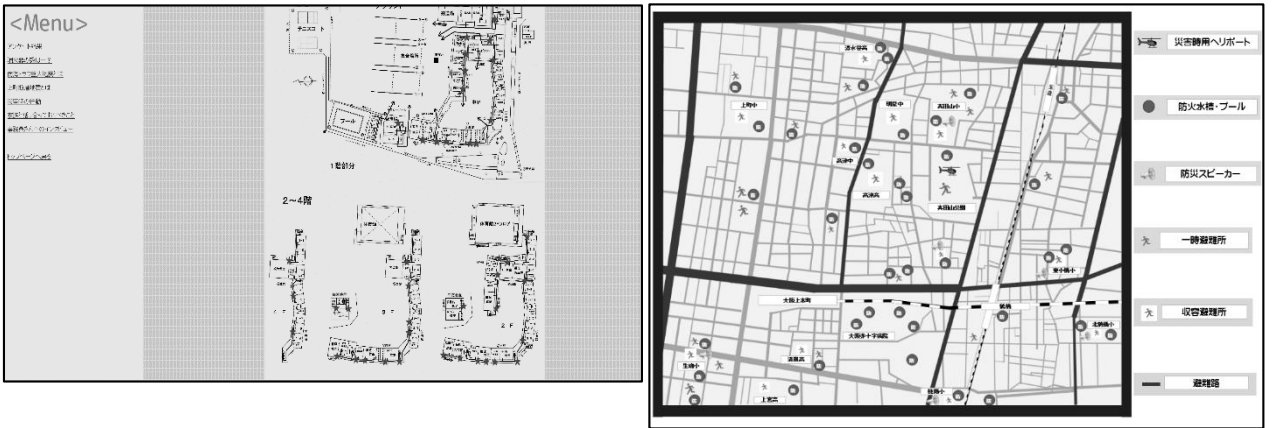
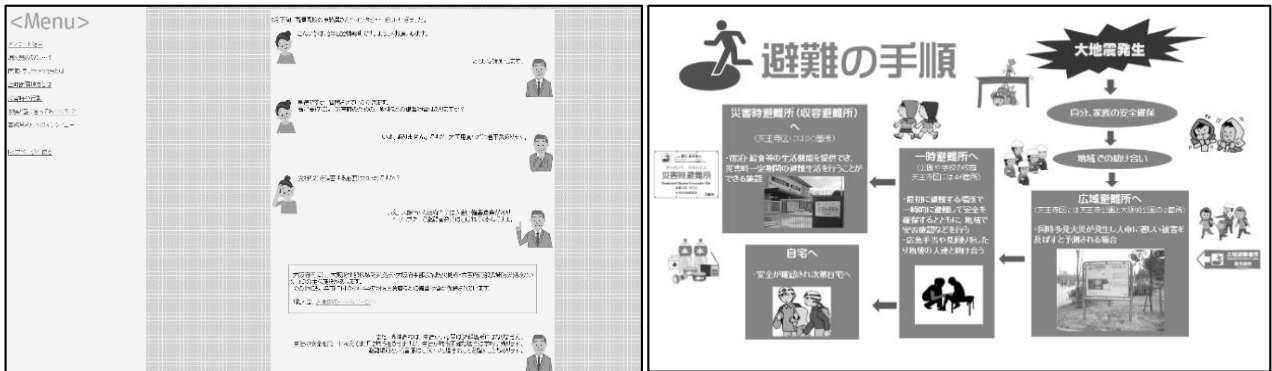
(1) 調査

まず、2年生全員に災害への備えと対応に関するアンケート調査を実施した。次に、学校の災害対策や耐震状況を知っておくことは、高津高校の生徒として必要であると考えたため、それらを事務職員の方に質問した。他にも耐震工事後の校舎確認や、消火器の場所と数の把握など屋外調査も行った。

(2) ホームページ作成

ホームページはHTMLという言語で、Windowsに付属するテキストエディタのメモ帳に記述していく形で作成した。以下がその例である。下図の左がメモ帳で、<>で囲まれた文字(タグ)により、表示形式を指定する。タグは、<>の開始タグと</>の終了タグを対にして記述しなければならない。タグには下の例の他にも、画像を表示するために用いられるimgタグや、表を作成するために用いられるtableタグなど様々なものがあり、それらを組み合わせて作成した。





(上図は、作成したホームページの一部。)

3. 結果と反省

今回は、目標とするホームページの公開までは辿り着けなかったが、ホームページの作成は完成に近いので、それをよりよくするためにコンテンツを増やし、見やすくするなど、さらに改善を進めていく必要がある。

反省点としては、ホームページという「Web サイト」というものはふつう、全世界に公開される形のものであるのに、「生徒やその家族」というように、公開する対象を極めて狭い範囲に限定して、ホームページの作成を進めた点である。そのため、災害への備えと対応に関する生徒の意識と知識向上のためには、ホームページという形式自体の見直しも視野に入れるべきだと考える。

4. 参考文献ならびに参考Webページ

相澤裕介(2005) 『HTML ワークブック』(情報演習④ステップ 30) カットシステム 191pp.